

給食費の改定についての説明資料

1 価格改定理由

① 献立の充実

前回価格改定後における食材価格の上昇などを受け、現行の給食費では魅力ある献立の作成が困難となっていること。

北センターの2献立やスチームコンベクションオーブン導入などにより、多様な献立ができる環境が整ったこと。

以上、食材の質と量の維持や向上など、献立の充実を図るもの。

② 公費負担分の軽減

平成 28・29 年度約 7,000 千円、平成 30 年度約 14,000 千円の一般会計からの繰り入れ額の低減を図るもの。

2 積算根拠

前回価格改定の平成 26 年度から令和元年度の主要給食食材費約 100 品目の物価上昇を比較した結果、5 年間で約 9.6%の物価が上昇しており、今後、現行の給食費で推移した場合、学校給食の質的量的低下が懸念される。

給食材料費は、その全額を給食費で賄うのが原則であるが、保護者負担への配慮も一定必要であることから、現行の学校給食の質と量を維持するために、県内や全国の給食費を考慮し、引上げ額は概ね 6%とする。

生駒市 小学校 4, 150 円 中学校 4, 550 円 (現在)

生駒市 小学校 4, 400 円 中学校 4, 800 円 (改正後)

※全国平均 小学校 4, 343 円 中学校 4, 941 円 (平成 30 年度)

※県内最高 小学校 4, 500 円 中学校 4, 800 円 (令和元年度)

参考：◇牛乳 令和元年 4 月から 1 本当たり 3.13 円増 (小・中共通)

◇米飯加工賃 令和 2 年 4 月から 1 食当たり 2.32 円増(小・中共通)

3 実施時期

実施時期 令和 2 年 4 月 1 日

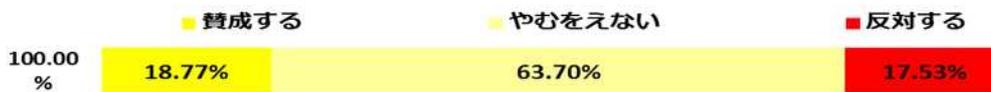
4 充実予定の主な食材内容

- コッペパンを変わりパン（米粉・黒糖パンなど）に変更する回数の増加
- ご飯を炊き込みごはんなどの変わりごはんに変更する回数の増加
- 豚肉を牛肉に、野菜の種類を追加するなど食材の充実
- フルーツ、納豆、ヨーグルト、ミックスナッツなどの回数の増加
- ジャム、ミルク、ふりかけなどの回数の増加

5 アンケート結果（保護者）

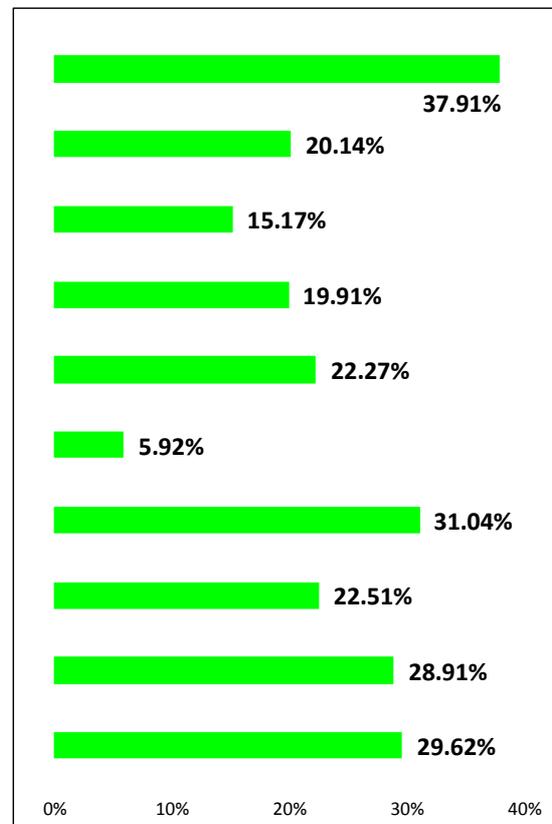
実施時期 令和元年 10 月 回答者：小・中の保護者 376 名

- ① 給食を充実させるために給食費の改定することについて、どう思われますか。



- ② 給食費改定分をどこの充実に充ててほしいと思われませんか？（複数選択可）

- ・変わりパン(米粉パン・黒糖パン・アップルパンなど)の回数を増やす
- ・炊き込みご飯の回数を増やす
- ・ジャムやふりかけの回数を増やす
- ・牛乳を飲みやすくするため、ミルクの回数を増やす
- ・魚や肉などの加工品のグレードを上げる
- ・牛肉の使用頻度を増やす
- ・魚や肉のサイズを大きくする、唐揚げなどの個数を増やす
- ・郷土料理・世界の料理など珍しい献立の回数を増やす
- ・野菜の種類や量を増やす
- ・果物やゼリーなどの回数を増やす



市 名	小学校	中学校	改定年月
生駒市	4,150	4,550	H26.4
奈良市	1食単価246	1食単価300	H26.4
御所市(職員)	4,400	4,800	R1.4
桜井市	4,400	4,700	H29.4
御所市(児童・生徒)	3,900	4,300	R1.4
橿原市	4,300	4,300	H28.9
宇陀市	4,000	4,450	H20.9
五條市	4,000	4,400	H26.4
葛城市	3,900	4,100	H26.4
大和郡山市	4,222	4,527	H27.4
香芝市	4,500	4,500	H28.9
大和高田市	4,300	4,500	
天理市	4,400	4,800	H30.4
生駒市、奈良市除く 平均	4,192	4,458	
全国平均(平成30年) (文部科学省調査)	4,343	4,941	—